



事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
会長：井上 修 副会長：鈴木一比古 幹事：加藤 篤 公共イメージ向上委員長：瀧谷恵二

**UNITE
FOR
GOOD**
よいことのために
手を取りあおう

2025-2026年度 RI会長メッセージ
よいことのために手を取りあおう

2025-2026 RI会長
フランチェスコ・
アレツォ
<イタリア>



第1767回例会 令和8年1月27日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 伊那中央ロータリー讃歌 唐澤千明ソングリーダー

■ ゲスト・ビジター紹介

・衛星クラブ 馬場秀則会員

■ 会長談話 井上修会長



本日、来て頂きましたが、新しい事務局スタッフが「田畑いづみ」さんに決定致しました。経験豊富な職務経歴と、加えて実に穏やかなご性質で、加えて、気配りの出来る才媛でもあり必ず皆様の手助けになって頂けると確信しています。今後とも宜しくお願い致します。

■ 1分間スピーチ

・矢島宏会員 ・唐澤稔会員 ・宮原健会員 ・原一馬会員 ・池田幸平会員



■ ニコニコボックス

◆井上修

お陰様で新たな事務局スタッフが見つかりました。皆さん、ご協力ありがとうございました。

◆加藤篤

本日はクラブ協議会と理事会が例会終了後行われます。間違いなく出席して下さいませうお願いします。

◆橋爪麻人

砂時計を用意してみました。1分、3分、5分とありますので、よかったら使ってみて下さい。

◆池上幸平

遅くなりました。今年もよろしく申し上げます。

■ 委員会報告

・1月13日（火）1月度会員増強委員会・RLI委員会・DEI小委員会委員長合同委員会の報告

池上幸平地区会員増強委員



リモートで開催
会議の内容は以下の通り

1：会員増強のアンケートの数字の結果の発表
各クラブの会費状況、年会費、入会金等の使用状況の報告。

- ・例会の回数 月3回が多いようです。
- ・会員増強予定数は 3～4名が多い。実際は1名～2名のようです。
- ・各クラブの奉仕活動を知りたい。

2：地区からのお願い

- ・オープン例会を開催してほしいとの依頼があった。本年度三澤委員長へ開催依頼。
- ・各クラブの奉仕活動の報告をしてほしい
- ・マイロータリーの登録依頼

「新入会員の集い」開催の案内

日時 2026年2月7日（土）受付12時30～

場所 中心会館 塩尻市大門一番町 8-17

・1月24日（土）2026-2027年度 地区補助金事業に関する打ち合わせの報告

澁谷恵二会員



日時 令和8年1月24日 土曜日 18時30分～

場所 ポッケ

参加者 井上会長、宮下会長エレクト、矢島会員、唐澤稔会員、澁谷
イーナ Jr ソフトボールクラブ監督 新井美穂様

1. 打ち合わせの目的

2026-2027 年度の当クラブスローガン『地域に根ざした奉仕の 40 年 ～持続可能な未来へ～』の精神に基づき、重点活動テーマである『ふるさと信州の心をつなぐスポーツ育成支援』の具体化を図るため、イーナ Jr ソフトボールの新井監督と意見交換を行いました。

2. 意見交換の主な内容

新井監督からの現場のアドバイスをいただき、参加者全員で意見交換を行いました。

道具（ニューボール）の提供と練習環境の整備 子供たちが質の高い練習を行い、全力でプレーを楽しめるよう、ニューボールの提供など実質的な道具の支援について話し合いました。

2028 年伊那で開催される国体に向けたモチベーションの向上 2028 年に伊那市で国体ソフトボール競技が開催されることを受け、子供たちが夢を持って取り組めるような、明るく活気ある大会にしようという想いを共有しました。

運営体制と会場の活用（会場案：伊那ニッパツスタジアム・旧伊那市営球場）チーム側の活動状況に配慮したスケジュール調整や、会場案である伊那ニッパツスタジアム（伊那市営球場）を有効に活用した、子供たちの思い出に残る場づくりを検討しました。

ジュニアチーム同士の交流促進 試合の結果だけでなく、県内のジュニアチーム同士が仲良くなり、スポーツを通じて地域の絆を広げていけるような交流の工夫について協議しました。

3. 期待される成果

ニューボールの提供を含む実質的な支援を通じて、子供たちの健やかな成長と「ふるさと信州」への地域愛を育みます。

4. 今後の展開

今後は新井監督からの要望を正式に計画案へ反映させ、国体開催という追い風も活かしながら、地域一体となった青少年育成の実現に向けて着実に活動を進めてまいります。

・1月25日（日）2026学年度米山奨学生選考会の報告 唐澤知子地区米山委員



選考会は、米山地区委員長、地区委員、ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニー、米山記念奨学会理事の12名が選考の面接官を務め、タイムキーパー等の補助の方3名、事務局2名のご協力のもと進められました。

面接前に改めて、経済的事情ではなく、将来ロータリアンとの交流を通じて母国と日本の架け橋となりうる人材を選考することが目的であるという点が共有されました。

選考は事前の書類審査と面接の合計点で行われますが、面接点の方の比重を高く設定しています。それは、近年のAIの発達により、応募書類については内容を整えれば一定程度どのようにも表現できてしまうため、書類だけでは応募者本人の日本語によるコミュニケーション能力や、研究内容への理解度・主体性といった本質的な部分を正確に把握することが難しくなっている。一方で、面接では受け答えを通して、日本語での表現力や考え方、姿勢が直接伝わり、実際のコミュニケーション能力をよりの確に確認できることから、選考において重要視されているとの説明がありました。ここは実際に面接をさせていただいて、応募者ごとのコミュニケーション力や研究への向き合い方の違いが明確に感じられて、面接の重要性を強く実感いたしました。

今回の応募者は16名で、その中から13名を選出します。3つのグループに分かれ、1グループあたり5～6名の応募者を、4名の面接官が1人15分間面接する形式で行われました。

全員の面接終了後、点数をもとに協議を行い、最終的な合否が決定されました。

「将来ロータリアンとの交流を通じて母国と日本の架け橋となりうる人材を選考する」この基準から、半年間のみの奨学期間を希望する応募者については対象外となり、また、書類審査で高評価であった学生が、面接において日本語で話す努力をせず英語のみで対応する姿勢が見られたことから、選外となるケースもありました。

選考結果としては、信州大学の学生が11名、長野大学が1名、長野県立大学が1名で、学部生8名、修士課程4名、博士課程1名です。国籍は中国から5名、ベトナムが4名、マレーシアが2名、韓国とスリランカが1名ずつです。

尚信大生11名の中には南箕輪の学生が3名含まれています。お世話クラブについては、今後岡村米山記念奨学委員長の方で調整をされていくとのことでした。

以上、選考会の報告といたします。

■ 新事務局員挨拶 田畑いづみさん



2月より事務員としてお世話になります。

自動車会社で24年勤め、定年退職いたしました。精一杯努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

■ 出席報告 会員数40名 出席免除会員4名 長欠会員1名 本日出席者（例会場）27名（ZOOM）1名 事前メイク1名 出席率82.86% 前回出席率 修正なし

■ 点 鐘 13:30

次回例会

2月3日（火） 点鐘／12:30 場所／海老屋料理店
・クラブフォーラム「国際奉仕委員会」 卓話：支援留学生